

新型コロナウイルスの変異株について (2022年1月13日現在)

【XBB系統】

2022年9月にシンガポールや米国から BJ.1 系統(BA.2.10 系統の亜系統)と BM.1.1.1 系統(BA.2.75.3 系統の亜系統)の組換え体である XBB 系統が報告され、その後遡ってインドから8月に検出された検体の登録がされている。米国では2022年11月からニューヨーク州など東海岸を中心に F486P 変異を有する XBB 系統の亜系統である XBB.1.5 系統が検出され始め、12月以降、他の系統に比べて感染者数増加の優位性(growth advantage)が顕著でありその割合が増加している。2023年第1週(1月1日~7日)には米国で検出された株の 27.6%を占めると予測されていることから、動向を注視していく必要がある。

日本では 2023年1月11日時点で XBB 系統(亜系統を含む)が検疫で 49 件、国内で 286 件検出されており、うち XBB.1.5 系統が国内で 7 件検出されている。

XBB 系統は実験的にも 中和抗体からの逃避能が高いことや、従来株、オミクロン対応 2 価の両ワクチンの感染予防効果が低下する可能性が示唆されている。感染者数増加の優位性も BA.2.75 系統や BA.4.6 系統と比較して高い可能性があるものの、XBB 系統が占める割合の上昇と感染者数の増加との明確な関連性はなく、臨床的な所見からは、重症度の上昇は示唆されていない。

※査読を受けていないプレプリント論文であることに注意が必要。

出典：<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2551-cepr/11749-sars-cov-2-24.html>

【東京都 新型コロナウイルス感染状況】(2023年1月16日 現在)

都内の医療機関から、今般の新型コロナウイルスに関連した感染症の症例が報告されましたので、お知らせします。都が報道発表済みの患者数は、4, 181, 566名です。

出典：https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2021/04/19/documents/20_00.pdf